

# 謹賀新年



発行  
天理教本愛大教会

〒453-0821  
名古屋市中村区大宮町 1-60  
TEL (052) 461-4326  
MAIL mail@hon-ai.org  
〒632-0071  
奈良県天理市田井庄町 19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広報部

春季大祭

1月13日  
午前10時

本愛大教会

年頭あいさつ

本愛大教会長

安藤吉人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、「今日を陽気に。つながる、つなげる。」の活動目標のもと、本愛大教会の活動の上にたくさん  
の誠真実をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。  
本年は教祖140年祭へ向かう年祭活動2年目の年です。  
また、本愛大教会創立110周年を迎える年でもあります。

大教会としては引き続き「今日を陽気に。つながる、つなげる。」を活動目標に掲げ、おやさまに、おぢばに、  
教会に心をつなぎ、新しいつながりをつくる努力をし、  
そして目の前の人を大切にしていこう。そんな一年にしたいと考えています。

二つの大きな目標に向かって、まずは自らの周囲から、  
楽しみにあふれた世界にしていきたいと思えます。  
本年も何卒よろしくお願ひします。

# 現代に生かす

## 「用木の道」

文・安藤吉人

が大切だと感じます。この質問にもあるように、お道や自身の未来を考えた時に「不安」を感じる人も多いように思います。そこで今日は、こ

先日、YouTubeをご覧になった未信仰の方から、次のような相談を頂きました。「交際の彼の実家が、天

理教の教会です。私自身は宗教アレルギーはありませんが、教会の様子を見ると休日もなく、家族のプライ

バシーもないように感じました。後継者の彼と結婚しても、子育てや結婚生活を

していく自信がありません。どうすべきでしょうか？」

私はこれからのお道の教会像は「こうしないとけない」「こうあるべき」という四角四面な考え方ではなく、各教会がそれぞれあり方を考え、教会家族が皆で相談して、より良いあり方を建設的に考えていくこと

### 先を楽しむに

の質問の回答ともなるように、「先を楽しむに」ということについて考えてみたいと思います。

教祖はご在世中、まるで口癖のように、たびたび「楽しめ、楽しめ」と仰っておられました。

『稿本天理教教祖伝逸話 篇』47「先を楽しむ」の中に、「あそこの家は松が枯



れたからつぶれてしまう」などといった世間の人々の声に対して、教祖は「今日の日、何か見えるやなければ、先を楽しむ、楽しめ。松は枯れても案じなよ。人が何んと言うても、言おうとも、人の言う事、心にかけるやない程に」とお話になったという話があります。また、吹雪の中、命がけでお屋敷を訪れた増井りんに対して、教祖は「さあ、その定めた心を受け取るで。楽しめ、楽しめ」と仰せになっています(同36)。

逆に想像もできないほどの先未来に不安を感じる人はいません。つまり、人間の考えや想像が及ぶ範囲には、限界があるのです。親神様はそうした限界の先、私たちの考えが及ばない、はるか先の未来に、想像もできない形で「楽しみ」を用意してくださっているのです。だから現状に我慢すべきと言っているわけではありません。教祖が常に私たちを見守り、その未来に大きな「楽しみ」を用意してくださっているのだと考えれば、たとえ今はつらい状況であったとしても、「教祖は必ずお見守りくださっている」という頼もしさ、先の幸せを心待ちにしてくださっているその温かな親心を感じられるはずだということです。教祖のその「ぬくもり」を感じるこそが、誰にとっても確かな心の支えになるはずだと、私は思うのです。

### 1月のこよみ

#### 元旦祭

1日 午前5時

#### よふき会初例会

2日 午前10時

#### 本部お節会

5日〜7日

#### 春季大祭

13日 午前10時

#### 教会長夫妻おたすけ

推進のつどい

#### 教会長年頭連絡会

13日

#### 青年会初例会

13日 午前10時

#### 布教実修所

14日 午前10時

#### むつみ会初例会

16日 午前10時

#### こども食堂MOGU

17日 午後5時

#### 婦人会初例会

20日 午前10時

#### こはる会初例会

20日 午前10時

#### 女子青年初例会

20日 午前10時

#### 本部春季大祭

26日 午前11時30分

教理随想

言わん言えんの理を探る



本愛創立百十周年の年が明けました。まずは六月の記念祭を目標にたすけ一條の歩みを加速させ、後半はさらに徹底して、陽気ぐらしへのひながたの道を歩む努力が求められます。そこで

「女雛型・苗代の理」と示されています。

で今月は、陽気ぐらしの原点ともいえる夫婦について考えてみたいと思います。

みかぐらうた第二節に、このよのぢいとてんとをかたどりて ふうふをこしらへきたるでな これハこのよのはじめだしとあります。

親神様は、人間が陽気ぐ

らしをするのを見て共に楽しみたいと思召されて人間とこの世界をお創り下さいましたが、最初になされたことは夫婦の雛型を捨てることでした。その夫婦の雛型に授けられた神名が「いざなぎのみこと、いざなみのみこと」で、ご守護の理はそれぞれ、「男雛型・種の理」「女雛型・苗代の理」と示されています。

夫婦は、天と地が抱き合

わさつた姿を形どつて創られたものです。天は虚空は男の理、そして地は大地は女の理と教えられ、夫婦が一手一つに治まる姿こそこの世の始め出しであり、そこから家庭の治まり、社会の治まり、そして陽気ぐらしへ続く道の礎であるとお

教え下さいました。この教えは混乱する現代社会においてますます重みを増しているといえるでしょう。

現実には、家庭や社会における様々な問題の背景には、夫婦の絆の弱まりと、そこから派生する家族の在り方が強く影響しています。逆にいえば夫婦仲が良く、円満な家庭であれば、たとえ学校が荒れていたり、子供の周囲に何らかの問題が起きてても、両親や家族に癒され励まされて元氣を取り戻すことができるのです。

おふでさきに、このよのぢいと天とハぢつのをや それよりでけたにんけんである (十一) 54

と教えられるように、子供

【第 109 回】

# 夫婦一手一つの治まりが陽気ぐらしの基礎を築く

はいわば天地の間で育まれるものですから、夫婦間に絶えず嵐が吹いたり、雷や地震が起きたりすれば、その間に生まれる子供は穏やかな心地ではいられず、健全に育たないのは当然という事態に陥つてしまいます。

### ■種と苗代

いざなぎのみことは、男雛型・種のご守護です。種とは、蒔けばそこから芽が出て花が咲いて実がなります。その実の中にまた種が宿り、次代の生命への出発点となる。一方、いざなみのみことは、女雛型・苗代のご守護です。苗代とは種を蒔く場所で、一般にお米の種を蒔く時は、苗代を作つてそこに種籾を蒔き、適度な大きさまで育ててから田植えという形で田に植え替えます。この姿から悟れるのは、種は物事の原因であり出発点であるのに対し、苗代は環境、人生にお

いては幼児期の家庭環境に相当するといえます。そして種と苗代が一体となつて命が宿り、さらに補い合い助け合つて生命が育まれていく。そう思うと夫婦が心を寄せ合つて暮らすことは、陽気ぐらしに欠かすことのできない絶対条件であることが分かります。

男は教えに沿つた不断の努力を重ねて、良き種を蒔く。女は子供が一人立ちするまでの環境づくりを心がける。かくて夫婦が「二つ一つ」となつて家庭の治まりを心がけるところに、陽気ぐらしへの道が拓けます。十全の守護の教えで親神様が強く仰せられるのはこの点であることを胸に刻み、夫婦で教祖ひながたの道を行んで、心の成人を目指していきたいものです。

ふたりのこゝろをさめいよ なにかのことをもあらはれる



←チャリチャリHP  
カリエコHP→

**大教会駐車場にシエアサイクル設置**

大教会では、第一駐車場と第二駐車場にシエアサイクルのポートを設置した。シエアサイクルはアプリ登録するだけで24時間いつでも電動自転車を借りることがができるサービスで、市内各所にある他のポートへの返却・乗り捨てが可能のため、新しい交通手段として注目を集めている。

利用料も安価で、名古屋駅や太閤通駅（旧中村区役所駅）にもポートがあるため、大教会への交通の利便性向上が期待される。利用登録や詳細については左記のQRコードを参照。

1月14日

本愛布教実修所の予定  
おつとめ、布教実動  
教理講座

講師 久保眞樹・本信義  
分教会長

テーマ「二つの心をつくに」

**総会開催**

婦人会本枇杷島委員部（青木奈美子委員長）では、11月19日午前11時より、安藤ちかい本愛支部長を迎えて、同分教会において「第25回婦人会総会」を開催した。

婦人会本心委員部（長江まどか委員長）では、11月23日午前10時より、安藤ちかい本愛支部長を迎え、同分教会において「第62回婦人会総会」を開催した。

11月のおさづけの理拝戴者  
瀧みずほ（本孝心）  
11月の初席者  
山田太陽（直轄）

本築分教会二代会長

佐藤金次郎之霊の三十年祭  
同分教会三代会長

佐藤幸夫之霊の一年祭

本築分教会では11月25日午前11時より、二代会長・佐藤金次郎之霊の三十年祭

並びに、三代会長・佐藤幸夫之霊の一年祭が、大教会長を祭主として同分教会で行われた。

本一心分教会三代会長  
大倉八郎之霊の一年祭

本一心分教会では12月2日午前11時より、三代会長・大倉八郎之霊の一年祭

が、大教会前会長を祭主として同分教会で行われた。

本正行分教会初代会長  
水野吉尾之霊の五十年祭

同分教会二代会長  
水野憲一之霊の三十年祭

本正行分教会では12月3日午前11時より、初代会長・水野吉尾之霊の五十年祭

並びに、二代会長・水野憲一之霊の三十年祭が同分教会で行われた。

▶

**大教会日誌**

令和5年11月25日～令和5年12月24日

**11月**

26日 本部月次祭

30日 常任役員会議◇役員会議

**12月**

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・大倉光晴、松浦道太郎  
指図方・野田正道 賛者・坂倉敏男、野田正樹  
◇祭典講話—石川文彦

2日 よふき会例会

おつとめ・十二下りてをどり

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・田中新一、吉田克義  
指図方・安藤正二郎 賛者・杉下和平、中島裕信  
◇祭典講話—大教会長

青年会例会

14日 布教実修所

16日 むつみ会例会

17日 女子青年例会

こども食堂MOGU（参加者90人）

20日 婦人会例会